

かつて三鷹にあった水車の全貌を紹介

「三鷹の水車の歴史」を発行



市教育委員会では、「三鷹の水車の歴史」を発行しました。

水車は用水や川に沿って設置され、昔から人々の生活に欠かすことのできないものでした。

本書(B5判78ページ)は平成12年度から3年にわたる三鷹の水車の歴史を調査した報告書です。

模、用途や地域産業に果たした役割、水車の盛衰の時期と理由など多面的に調査した結果の集大成です。

基と考えられていた最盛期の水車数が11基であったことが判明したほか、水車図面や水車関係文書などの新たな発見も含まれています。

▼情報公開総合窓口(市役所2階)で販売。定価60円。

↓生涯学習課内線3331

今も残る水車を見学しよう

毎週日曜日は予約なしで

ボランティアガイドがご案内

「武蔵野(野川流域)の水車経営農家」は、武蔵野台地上でほとんど唯一、稼働していた状態で残っている貴重なものです。

昨年12月から毎月第1・3日曜日に、専門的な講座を修了したボランティア市民解説員がご案内しています。

見学者が増えたため、4月から毎週日曜日にご案内することになりました。

て、日曜日は事前予約の必要もなくなりました。

もぜひ一度ご見学ください。

【武蔵野(野川流域)の水車経営農家(東京都指定有形民俗文化財)】

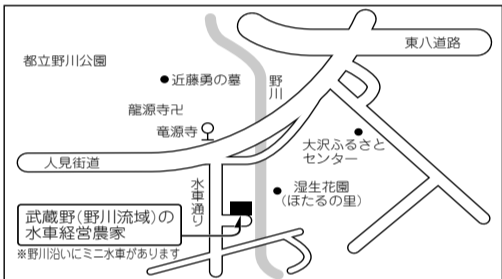
◆所在地 大沢6-10 15

◆公開日時 原則として毎週

土・日曜日の午前9時〜午後4時

▼日曜日の個人見学は予約不要。10人以上の団体とそのほかの日には、(株)まちづくり三鷹40-9669へ申し込む。

↓生涯学習課内線3331



武蔵野(野川流域)の水車経営農家 ※野川にミニ水車があります

市内の大学で 学生とともに学び 市民聴講生を募集
市教育委員会では、ルーテル学院大学と国際基督教大学との協力で、市民聴講生を募集します。

市民聴講生を募集
①「障害者福祉の諸問題」(西原雄次郎教授) 毎週火曜 日午後4時30分〜6時

チケットインフォメーション
三鷹市芸術文化振興財団
(三鷹市芸術文化センター内)
47-5122
http://mitaka.jpn.org/

友の会MARCL(マークル)
財団主催の全公演のチケットが1割引(割引は2枚まで)で購入でき、優先予約日があるので、より良い席をお楽しみいただけます。

セルジオ・ティエンポ
ピアノ・リサイタル
6月1日(日) 18:00開演
全席指定/三鷹市在住・在勤の方=2,700円

憲法を記念する 市民のつどい
展示の参加団体を募集
市では5月24日(日)、三鷹市公会堂で「憲法を記念する市民のつどい」(弁護士・木村晋介さんの講演、映画上映ほか)を開催します。

まちづくり研究所 第2分科会
自治基本条例(仮称)を検討するまちづくり研究所第2分科会(座長・西尾勝国際基督教大学教授)の傍聴を受け付けていますので、ぜひお出掛けください。

三鷹の森ジブリ美術館「市民特別枠」
6月入場分を販売
◆販売する入場券 6月1日・7・8・14・15・21・22・28・29日の各日、正午入場分50枚・午後4時入場分50枚(計100枚)

井口在住の洋画家 河合喜代子さんが 市に作品を寄贈
洋画家の河合喜代子さんから絵画作品が市に寄贈されました。



河合さんは昭和58年から井口に在住し、創元会田中賞などを受賞、同会会員運営委員審査員を務めるなど長く創作活動を続けています。